

文京愛菊会・審査規程（細目）

（目的）

第1条 本細目は、文京愛菊会・審査規程第6条第1号における審査上の支障や問題を客観的に判断するため、同規程第4条の部門別規程を補完することを目的として、文京愛菊会役員の合議により会長が定めるものとする。

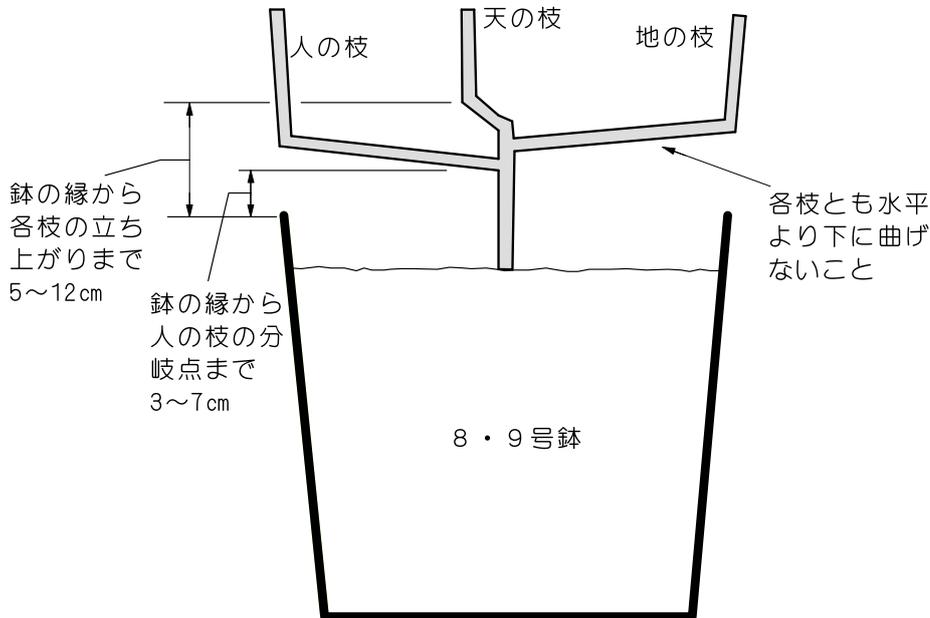
（効力）

第2条 本細目で定めた審査規程を大きく逸脱した出品については、審査除外にはしないが、優等花には選出しないこととする。

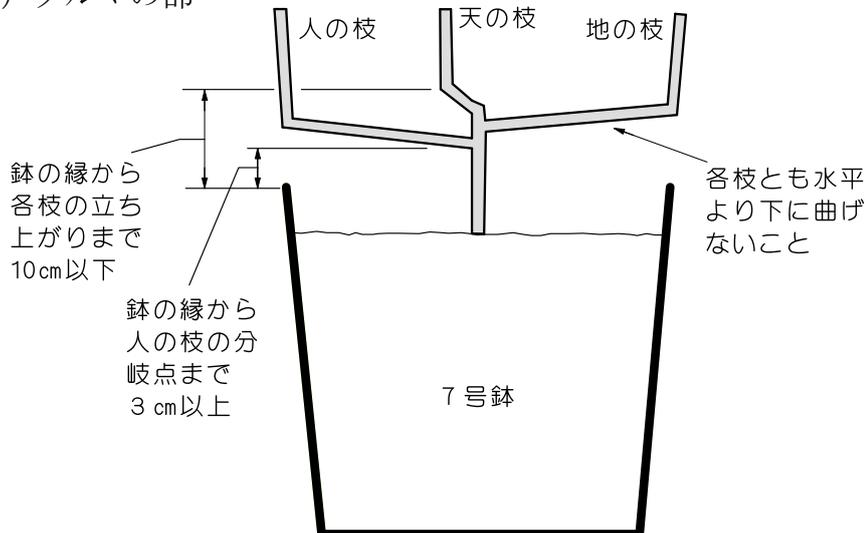
（部門別細目規定）

第3条 部門別の細目規定は、以下の通りとする。

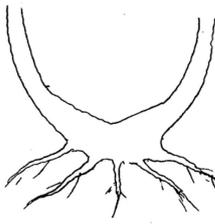
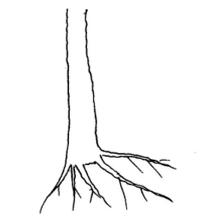
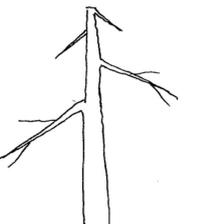
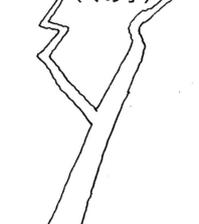
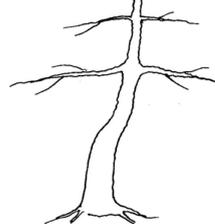
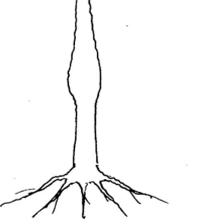
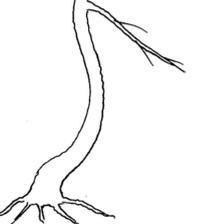
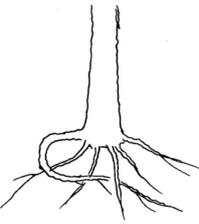
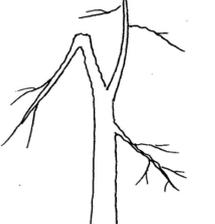
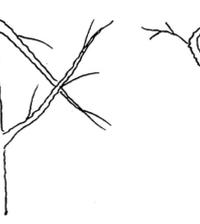
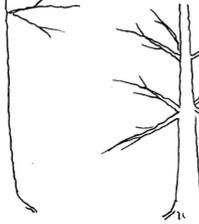
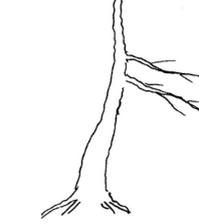
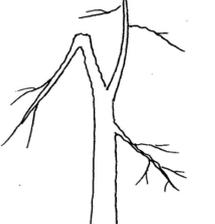
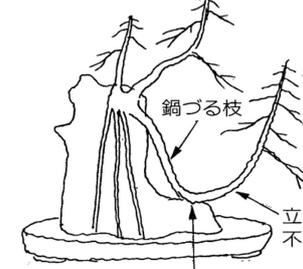
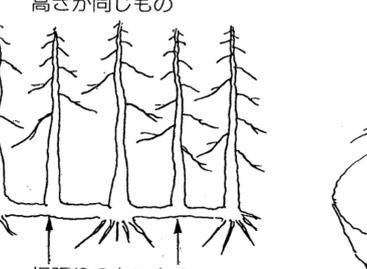
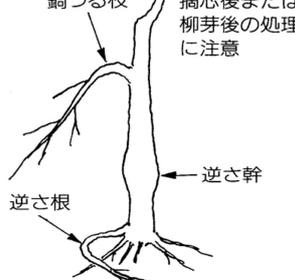
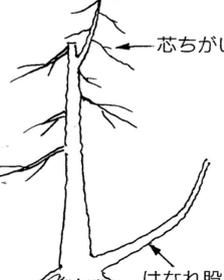
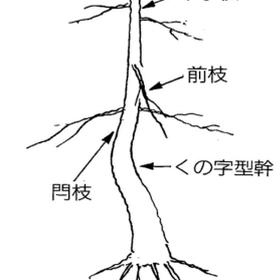
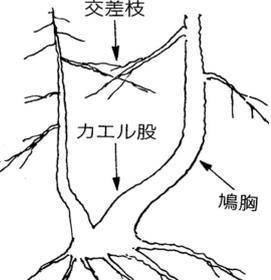
（1）盆養の部



（2）ダルマの部



(3) 盆栽の部 (忌み型の例)

<p>⑤カエル股</p>  <p>同じ太さの幹を育てる場合に生じやすい。</p>	<p>④片根張り</p>  <p>幼苗期の鉢回しなどの管理が不完全なため。根腐れにも注意。</p>	<p>③逆の相生(あいおい)</p>  <p>丈の低いほうが高いほうより太いもの。</p>	<p>②芯止まり</p>  <p>樹頭が切断されたり、樹芯の止まったもの。</p>	<p>①ギックリ曲がり(くの字)</p>  <p>曲がりที่ไม่自然で整枝のうえで見苦しい。</p>	
<p>⑩門枝(かんぬき枝)</p>  <p>枝は段差をつけて配置することが基本。</p>	<p>⑨逆さ樹</p>  <p>上部より下部が細いもの。ムダ枝処理の失敗。</p>	<p>⑧鳩胸幹</p>  <p>針金かけで矯正が必要。とくに幼苗期に注意。</p>	<p>⑦鍋づる樹(枝)</p>  <p>主幹から枝を作るときに多い針金かけの失敗。</p>	<p>⑥逆さ根</p>  <p>根は四方に伸ばすのが基本。鉢上げ時に起因。</p>	
<p>⑬芯ちがい</p> 	<p>⑬交差枝</p>  <p>枝が交差しているもの。</p>	<p>⑭逆枝</p>  <p>伸びるべき方向と逆に曲がった枝。</p>	<p>⑮車枝</p>  <p>同じ位置から枝が数本出たもの。</p>	<p>⑫指し枝</p>  <p>本模様を殺す正面に向かった枝。</p>	<p>⑪重なり枝</p>  <p>同一方向に枝が重なっているもの。</p>
<p>鍋づる枝</p>  <p>立ち上がりの不自然なもの</p> <p>根張りのないもの</p>	<p>高さが同じもの</p>  <p>根張りのないもの</p>	<p>⑰同居植え</p> 			
<p>鍋づる枝</p> <p>摘芯後または柳芽後の処理に注意</p> <p>逆さ根</p> <p>逆さ幹</p> 	<p>芯ちがい</p> <p>はなれ股</p> 	<p>十字枝</p> <p>前枝</p> <p>門枝</p> <p>くの字型幹</p> 	<p>交差枝</p> <p>カエル股</p> <p>鳩胸</p> 		

(付 則)

この審査規程(細目)は、令和4年4月1日から施行する。